

12/11
SUN

NPOと 協力のテクノロジー

「異なる人」と協力するために

NPO の重要な役割は、社会課題の解決だけではありません。団体を大きくすることでもありません。
その課題に取り組む多くの関係者をつくり出し、協力の輪を広げていくことです。
しかし、NPO や市民、行政、企業などの異なる立場の人や組織が協力するのは難しく、苦手意識を持つ人も多いのでは。
考えや価値観が異なる多様な人々のそれぞれの想いをそのままに、目的に向かって協力するために開発された
「協力のテクノロジー」をもとに、これからの協力を一緒に考えましょう。

講演

「協力のテクノロジー

～「違う」を大切に協力できる地域をつくる」

2022 年 4 月に発行された松原さんの書籍『協力のテクノロジー 関係者の相利をはかるマネジメント』では、価値観が多様化する現代において、「違う」者同士が力を合わせる「協力」は、誰もが習得できる技術として体系的に説明しています。
市民活動が社会を変える力は「協力」だと語る松原さん。
誰もがすぐに実践できる協力のヒントを伝授してもらいます。

協力世界 代表
松原明さん



事例紹介

「ステークホルダーとの話し合いの場を経験して」

「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」があります。
「まちはみんなでつくるもの」を合言葉に、ステークホルダーとの話し合いにこだわりながら、活動続ける工夫などを紹介します。

NPO 法人おおさき地域創造研究会 事務局長
小玉順子さん



日 時：12 月 11 日（日） 13:30 ～ 16:30
（16:00 ～ 16:30 会場のみ交流会）

会 場：みやぎ NPO プラザ 交流サロン

参加方法：会場およびオンライン（Zoom）

定 員：50 名（会場 25 名、オンライン 25 名）

参 加 費：無料

対 象：関心のある方ならどなたでも

フリートーク

意見交換しながら協力をさらに深掘りしましょう！

交流会

名刺交換などで交流を深めましょう。書籍『協力のテクノロジー』も販売します。（サイン会あり！）